

令和7年度 研修・教育部会セミナー

テーマ: 膵がんの診断と治療の最前線

【日 時】 令和7年10月11日(土) 14:00～15:45 (開場 13:30)

【会 場】 神戸市教育会館 6階 大ホール (会場:定員75名)

兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-15 TEL 078-222-4111

※会場での講演と同時にZoomを用いたWebセミナー(ハイブリッド方式)で開催

【対 象】 医療関係者

【参加費】 無 料

<プログラム>

座長 関西労災病院 消化器外科部長 武田 裕

オープニング リマークス

「膵癌の診断と治療」(14:05～14:15)

関西労災病院 消化器外科部長 武田 裕

特別講演 1

「膵癌診療の最前線:画像診断と内科的治療の進歩」(14:15～14:55)

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長・准教授 増田 充弘

— 休憩(14:55～15:00)—

特別講演 2

「根治をねらう!膵がんの外科治療」

～ロボット手術からコンバージョン手術まで～ (15:00～15:40)

大阪府済生会中津病院 外科・消化器外科 主任部長、神戸大学 臨床教授 外山 博近

<申込先> 申込締切日 10月3日(金)

◆下記のURL、又は2次元コードよりお申込みください

<https://forms.gle/mStKphgzWUvGRAnb6>

Web参加の方には、申込み締め切り後にご登録いただいたメールアドレスへ
Zoomから招待状をお送りします。



【問合せ先】 兵庫県がん診療連携協議会事務局 (兵庫県立がんセンター総務課)

TEL 078-929-1151 e-Mail jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

主催: 兵庫県がん診療連携協議会

後援: 兵庫県医師会 兵庫県看護協会

テーマ：膵がんの診断と治療の最前線

日 時：2025年10月11日（土） 14:00～15:45

会 場：神戸市教育会館 6階 大ホール

座長 関西労災病院 消化器外科部長 武田 裕

1 オープニングリマークス：「膵癌の診断と治療」

関西労災病院 消化器外科部長 武田 裕

膵癌は予後不良な癌であり早期膵癌は少なく半分は遠隔転移を伴い発見されます。膵癌診療ガイドライン(2022)では、臨床症状/膵酵素/腫瘍マーカー/リスクファクター/膵画像異常所見から超音波/造影CT/MRI/EUS/ERCPで診断確定をするとなっています。治療は切除可能膵癌(R)では術前治療・外科的切除・術後補助療法、切除可能境界膵癌(BR)では化学療法・化学放射線療法、局所進行切除不能膵癌(UR-LA)では化学療法・化学放射線療法、遠隔転移を伴う切除不能膵癌(UR-M)では化学療法を施行するとされています。特別講演の前に膵癌の診断治療の基礎知識を概説します。

2 特別講演1：「膵癌診療の最前線：画像診断と内科的治療の進歩」

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長・准教授 増田 充弘

膵癌は早期発見が極めて困難で、依然として予後不良ながんである。近年、膵管拡張や限局性膵萎縮といったといった画像所見が早期膵癌の重要なサインとして注目され、AI(人工知能)を活用した画像診断支援技術の研究も発展しつつある。診断精度の向上とともに、化学療法も一定の進歩を見せており、内科的治療の役割が拡大しつつある。本講演では、膵癌の診断と内科的アプローチの最前線を概説する。

3 特別講演2：「根治をねらう！膵がんの外科治療」

～ロボット手術からコンバージョン手術まで～

大阪府済生会中津病院 外科・消化器外科 主任部長、神戸大学 臨床教授 外山 博近

近年、集学的治療の進歩により膵がんの予後は向上しつつあるが、未だ最も難治とされる癌の一つであり、外科手術が唯一の根治的治療であることには変わりはない。本講演では、切除可能な膵がんに対する標準的外科治療をはじめ、切除不能な進行膵がんに対して抗がん剤や放射線治療と組み合わせて根治を狙うコンバージョン手術や、腹腔鏡やロボット手術などのより体に負担の少ない新しい手術方法など、エキスパートから見た最新の外科治療について紹介する。